

■ドイツ：ラストリゾートサービスで救済されない需要家が発生か

ドイツ国内の経済紙や主要各誌は 2013 年 5 月 14 日、新たなビジネスモデルにより相場より 4 割も安く電力を供給する Care Energy グループ（需要家数 25 万軒）が廃業になる可能性があるとして報じた。同グループは、複雑な電力取引形態を形成することで、すべての小売事業者が負う再エネサーチャージの支払いを 2012 年秋から停止、これが同社の価格競争力の源泉のひとつとなっていた。しかし、サーチャージの回収に当たっている送電事業者が、同社にはサーチャージの支払い義務があるとして提訴、連邦系統規制庁も脱法行為の可能性があるととして秩序違反手続きを開始した。今後の裁判の行方によっては、Care Energy グループが経営破たんする可能性もある。通常の電力供給契約では、小売電気事業者が経営破たんした場合には、各地域で最大手事業者が一時的に電力供給を引き継ぐラストリゾートサービスが適用されるため、供給が途絶える事態には発展しない。しかし、Care Energy グループの取引形態は特殊であるために、ラストリゾートサービスの対象とはならず、場合によっては 25 万軒の需要家に対する電力供給が停止される可能性もある。